

[説明資料] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的，利用方法，作品自体やその製作過程で工夫したことを，文章，写真，図などで説明。この用紙1枚に記入後，PDFファイルを作成。

学校名	茨城大学	個人・グループ名	滝本 穰治	作品名	パソコンデスク
-----	------	----------	-------	-----	---------

### ● 製作の動機，目的

私の自宅には古いパソコンデスクがあったのですが，鉄・アルミ等の金属製であり部屋が機械的な雰囲気になること，プリンタが動かさないため紙の補充やインクの交換に手間がかかることなどが問題となっていました。

そこで，木材を利用し，安価で強度を保ちながら私の要求する動作を実行できるような作品を製作しようと考え，本作品を製作しました。

### ● 利用方法

画像（右上図）の上段から，1段目はパソコン本体とディスプレイ，スピーカーを，2段目にはキーボードを，3段目はモデムやアダプタ関係を，最下段にはプリンタを置くように設計し，現在活用しています。



### ● 工夫したところ

この作品の材料はすべて2×4で製作しました。棚板は2×4を1×4サイズに切断し，集成材としました。最上段，最下段の棚板には合板を貼り付け，強度の確保を図っています。

2・4段目の棚板を移動式にするために，棚板の支えとなる材料に小さなキャスターを埋め込み，簡易スライド式棚材を作成しました。棚板を手前にスライドさせると自重で手前に傾きますが，奥側は補助側材に引っかかるため，キーボード入力においては適度な角度に保ちながら作業をすることができます。

また，環境を考慮してこの作品には釘を使用していません。上から1・3段目の棚板は大入れ接ぎで接合しました。棚板の厚さほどの溝にしっかりと組むことで強度を確保しています。

従来のパソコンデスクの機械的な感じを無くし，節などの木目を活かすために，塗装は透明ニスを用いて行いました。

本体の足には耐用重量18kgのキャスターを6つ使用し，強度を保ちながらフレキシブルに移動できる機能を設け，パソコンデスク以外にも多用途に対応できるようにしました。

